

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 太陽工機

コード番号 6164 URL <http://www.taiyokoki.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡辺 登

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 小林 秋男

TEL 0258-42-8808

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	692	△41.8	△93	—	△104	—	△68	—
25年3月期第1四半期	1,189	8.6	115	63.8	107	89.1	102	87.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△23.32	—
25年3月期第1四半期	35.40	35.21

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	3,646	2,313	63.1
25年3月期	3,706	2,405	64.5

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 2,301百万円 25年3月期 2,390百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,200	△21.4	40	△87.2	20	△93.1	10	△96.2	3.43
通期	5,700	0.6	650	△5.7	610	△6.2	370	△51.8	127.08

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	2,978,200 株	25年3月期	2,978,200 株
26年3月期1Q	46,615 株	25年3月期	55,215 株
26年3月期1Q	2,926,950 株	25年3月期1Q	2,908,418 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	2
4. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、昨年末の政権交代による経済政策への期待感から円安や株高基調が定着し、景気の先行きに明るい兆しが見え始めております。

工作機械業界においても、外需はアメリカの自動車及び航空機関連が堅調に推移し、アジア地域では一般機械関連で需要に持ち直しの動きが見られております。内需においては、円安や政府が導入した設備投資推進政策により、受注は上向きつつありますが、本格的な需要回復には至っておりません。

こうした状況下においても当社は、国内では産業機械関連企業の需要の取り込みに成功し、海外では、アメリカ及び中国、台湾といった現地ユーザーからの新規受注を獲得しております。また、4月には4大工作機械見本市である中国国際工作機械見本市(CIMT2013)、5月にはグループ企業主催の展示会に出展し、国内外のユーザー層を拡大するとともに、設備投資ニーズを積極的に掘り起こすことで、確実に受注につなげてまいりました。

製品面では、大型の高剛性機NVGHシリーズの拡充及び新小型立形研削盤の開発を進めており、当社製品のさらなる進化を図っております。

この結果、当第1四半期累計期間の受注高は1,062,377千円(前年同期比39.6%減)となりました。うち当社主力機種である立形研削盤は859,558千円(前年同期比23.2%減)、横形研削盤は124,308千円(前年同期比48.0%減)、その他専用研削盤は78,511千円(前年同期比80.5%減)となりました。

生産高は616,759千円(前年同期比37.6%減)となりました。うち立形研削盤は555,360千円(前年同期比32.9%減)、横形研削盤は61,399千円(前年同期比51.0%減)となりました。

売上高につきましては692,725千円(前年同期比41.8%減)となりました。品目別に示すと、立形研削盤は607,044千円(前年同期比35.2%減)、横形研削盤は76,979千円(前年同期比63.0%減)、その他専用研削盤は8,701千円(前年同期比80.0%減)となりました。

損益につきましては、実績は営業損失93,177千円(前年同期は115,316千円の利益)、経常損失104,974千円(前年同期は107,311千円の利益)、四半期純損失68,249千円(前年同期は102,957千円の利益)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

#### (流動資産)

当第1四半期会計期間末の流動資産は前事業年度末に比べて57,263千円減少し、2,309,807千円となりました。これは主に現金及び預金が12,637千円、売掛金が389,366千円減少したこと、仕掛品が285,554千円、原材料及び貯蔵品が11,599千円、繰延税金資産が38,575千円増加したことによるものです。

#### (固定資産)

当第1四半期会計期間末の固定資産は前事業年度末に比べて2,587千円減少し、1,337,182千円となりました。これは主に有形固定資産が3,656千円減少したことによるものです。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末の流動負債は前事業年度末に比べて47,241千円増加し、533,066千円となりました。これは主に買掛金が55,038千円増加したこと、未払法人税等が41,099千円、製品保証引当金が13,313千円、役員賞与引当金が18,289千円減少したことによるものです。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末の固定負債は前事業年度末に比べて15,142千円減少し、800,519千円となりました。これは主にリース債務が13,932千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は前事業年度末に比べて91,949千円減少し、2,313,404千円となりました。これは主に利益剰余金が97,479千円減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成25年5月10日発表の「平成25年3月期決算短信(非連結)」における開示内容から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	296,039	283,401
売掛金	1,000,572	611,205
仕掛品	727,129	1,012,683
原材料及び貯蔵品	174,331	185,930
繰延税金資産	160,779	199,354
その他	9,219	18,230
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	2,367,070	2,309,807
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	793,901	784,400
土地	354,269	354,269
その他(純額)	142,469	148,313
有形固定資産合計	1,290,639	1,286,983
無形固定資産		
	6,646	4,872
投資その他の資産		
繰延税金資産	5,741	5,312
その他	36,741	40,013
投資その他の資産合計	42,482	45,325
固定資産合計	1,339,769	1,337,182
資産合計	3,706,840	3,646,990
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	155,013	210,051
未払法人税等	43,761	2,662
製品保証引当金	45,324	32,011
役員賞与引当金	18,289	—
その他	223,436	288,341
流動負債合計	485,825	533,066
固定負債		
リース債務	768,449	754,517
その他	47,211	46,001
固定負債合計	815,661	800,519
負債合計	1,301,486	1,333,585
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	700,328	700,328
資本剰余金	470,126	471,856
利益剰余金	1,266,363	1,168,884
自己株式	△46,548	△39,298
株主資本合計	2,390,270	2,301,771
新株予約権	15,083	11,633
純資産合計	2,405,353	2,313,404
負債純資産合計	3,706,840	3,646,990

(2) 四半期損益計算書  
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,189,269	692,725
売上原価	845,856	512,875
売上総利益	343,412	179,850
販売費及び一般管理費	228,096	273,027
営業利益又は営業損失(△)	115,316	△93,177
営業外収益		
受取利息	1	0
受取手数料	449	563
保険配当金	221	244
その他	4,662	186
営業外収益合計	5,335	995
営業外費用		
支払利息	9,256	7,934
売上割引	2,100	1,079
支払手数料	295	279
その他	1,687	3,500
営業外費用合計	13,340	12,792
経常利益又は経常損失(△)	107,311	△104,974
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	107,311	△104,974
法人税、住民税及び事業税	4,354	1,421
法人税等調整額	—	△38,146
法人税等合計	4,354	△36,725
四半期純利益又は四半期純損失(△)	102,957	△68,249

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。